

## 安全データシート(SDS)

### 1. 化学物質等及び会社情報

製品名:MgF2  
化学物質等の名称:フッ化マグネシウム  
会社名:三和研磨工業株式会社  
住所:〒611-0033 京都府宇治市大久保町上ノ山 22-1  
TEL:0774-41-6656 FAX:0774-43-9201  
緊急連絡先:京都薄膜材料研究所  
TEL:0774-52-5488 FAX:0774-55-5095  
担当者:佐久間 隆一  
E-mail Address:ryuichi\_sakuma@sanwakenma.co.jp  
推奨用途及び使用上の制限:電子ビーム及び抵抗加熱用蒸着材

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS 分類

##### 人健康有害性

|                    |             |
|--------------------|-------------|
| 皮膚腐食性・刺激性          | 区分 2        |
| 目に対する重篤な損傷・目刺激性    | 区分 2        |
| 特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露) | 区分 3(気道刺激性) |

※記載のない GHS 分類区分:該当しない/分類できない

#### ラベル要素

絵表示又はシンボル:



#### 注意喚起語

##### 警告

危険有害性情報:皮膚、目を刺激し炎症を起こす。呼吸器への刺激のおそれ。

#### 注意書き:

##### 【安全対策】

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。  
粉じんを吸入しないこと。  
取扱い後はよく手を洗うこと。  
環境への放出を避けること。

##### 【救急処置】

気分が悪いときは、医師の診断、手当てを受けること。  
漏出物は回収すること。

##### 【保管】

##### 【廃棄】

内容や容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

## 3. 組成、成分情報

## 化学物質

|                         |           |
|-------------------------|-----------|
| 製品名:                    | MgF2      |
| 化学名又は一般名:               | フッ化マグネシウム |
| 化学式:                    | MgF2      |
| 官報公示整理番号<br>(化審法・安衛法):  | 1-328     |
| 化学特性(化学式又は構造式):         | MgF2      |
| CAS 番号:                 | 7783-40-6 |
| 分類に寄与する不純物及び<br>安定化添加物: | なし        |
| 濃度又は濃度範囲:               | 99.9%     |

## 4. 応急処置

|            |   |
|------------|---|
| 吸入した場合:    | 新鮮な空気に場所に移し、鼻をかみうがいさせる。   |
| 皮膚に付着した場合: | 製品に触れた部分を水と石鹼でよく洗浄する<br>医師に連絡をすること。   |
| 目に入った場合:   | 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。刺激が続く場合は専門医の処置を受ける |
| 飲み込んだ場合:   | 水でよく口の中を洗浄し直ちに医師の処置を受ける。  |

## 5. 火災時の処置

|              |  |
|--------------|--|
| 消火剤:         | この製品自体は、燃焼しない。<br>周辺の火災に応じて適切な消火剤を用いる。 |
| 使ってはならない消火剤: | なし                                     |
| 特有の危険有害性:    | 情報なし                                   |
| 消火を行う者の保護:   | 消火作業の際は、吸気式呼吸器保護具等の各種保護具を着用する。         |

## 6. 漏出時の措置

|                             |  |
|-----------------------------|--|
| 人体に対する注意事項、<br>保護具及び緊急時措置:  | 作業者は適切な保護具(「8. ばく露防止及び保護措置」の項目を参照)を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。<br>関係者以外の立入りを禁止する。                      |
| 環境に対する注意事項:<br>回収、中和:       | 河川等に排出され、環境へ影響を起ささないように注意する。<br>漏洩物を掃き集め、密閉可能な空容器に回収し廃棄処理する。<br>粉じんの発生を防止するため、状況によっては水で湿らせた後に回収する。 |
| 封じ込め及び浄化方法と機材:<br>二次災害の防止策: | 危険でなければ漏れを止める。<br>排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。  |

## 7. 取り扱い及び保管上の注意

## 取扱い

|            |  |
|------------|--|
| 技術的対策:     | 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。                                      |
| 局所排気・全体排気: | この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。   |
| 安全取扱注意事項:  | 屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。<br>接触、吸引又は飲み込まないこと。<br>粉じんの吸入を避けること。<br>扱後はよく手を洗うこと。 |
| 接触回避:      | 「10. 安定性及び反応性」を参照。   |

## 保管

|        |                  |
|--------|------------------|
| 技術的対策: | 特別に技術的対策は必要としない。 |
|--------|------------------|

|         |   |
|---------|---|
| 混触危険物質: | 「10. 安定性及び反応性」を参照。                      |
| 保管条件:   | 容器を密閉して換気の良い涼しい所で保管すること。<br>施錠して保管すること。 |
| 容器包装機材: | 包装、容器の規制は無いが、密閉式の破損しないものに入れる。           |

## 8. 暴露防止及び保護措置

|             |  |
|-------------|--|
| 管理濃度:       | 設定されていない。  |
| 許容濃度:       | 設定されていない。  |
| 設備対策:       | 空気中の濃度をばく露限界以下に保つために排気用の換気を行うこと。<br><br>この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗顔器と安全シャワーを設置すること。 |
| 保護具         |  |
| 呼吸器の保護具:    | 防塵マスクを使用する。状況に応じ、送気マスク、空気呼吸器を使用する。   |
| 手の保護具:      | 保護手袋を着用すること。   |
| 眼の保護具:      | 眼、顔面用の保護具又は呼吸用保護具と眼用保護具の併用を着用すること。   |
| 皮膚及び身体の保護具: | 保護衣、保護長靴等を着用すること。  |
| 衛生対策:       | この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。<br>取扱い後はよく手を洗うこと。                                  |

## 9. 物理的及び化学的性質

|               |       |
|---------------|-------|
| 物理的状態、色など:    | 無色    |
| 臭い:           | 無臭    |
| pH:           | データなし |
| 融点・凝固点:       | 1248℃ |
| 沸点・初留点及び沸騰範囲: | 2260℃ |
| 引火点:          | 不燃性   |
| 爆発範囲:         | 爆発性なし |
| 蒸気圧:          | データなし |
| 蒸気密度(空気=1):   | データなし |
| 比重(密度):       | 3.15  |
| 溶解度:          | 水に不溶  |
| 分解温度:         | データなし |

## 10. 安定性及び反応性

|                |                    |
|----------------|--------------------|
| 安定性:           | 空気中で強熱するとフッ素化ガスを発生 |
| 危険有害反応性可能性:    | データなし              |
| 避けるべき条件:       | データなし              |
| 混触危険物質:        |                    |
| 危険有害性のある分解生成物: | フッ素化ガス             |

## 11. 有害性情報

|                     |        |       |
|---------------------|--------|-------|
| 急性毒性:               | GHS 判定 | データなし |
| 皮膚腐食性・刺激性:          | GHS 判定 | データなし |
| 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性:    | GHS 判定 | データなし |
| 呼吸器感作性又は皮膚感作性:      | GHS 判定 | データなし |
| 生殖細胞変異原性:           | GHS 判定 | データなし |
| 発がん性:               | GHS 判定 | データなし |
| 生殖毒性:               | GHS 判定 | データなし |
| 特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露): | GHS 判定 | データなし |
| 特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露): | GHS 判定 | データなし |
| 吸引性呼吸器有害性:          | GHS 判定 | データなし |

## 12. 環境影響情報

水生環境急性有害性: GHS 判定 データなし  
水生環境慢性有害性: GHS 判定 データなし

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物: 廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。  
都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。  
廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。

汚染容器及び包装: 容器は清浄にしてリサイクルするか関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。  
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

## 14. 輸送上の注意

国連分類: 非危険物  
海洋汚染: 海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律: 該当しない

## 15. 適用法令

労働安全衛生法 :: 名称通知物質や危険物、特定化学物質に該当しない。  
化学物質管理促進法(PRTR法) : 該当せず  
化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律 : 化審法 既存化学物質  
労働基準法 : 療養補償をすべき疾病を引き起こす化学物質等(弗素及びその無機化合物)  
毒物及び劇物取締法 : 普通物  
消防法 : 非危険物

## 16. その他の情報

## 参考文献

化学物質管理促進法 PRTR-MSDS 対象物質全データ 化学工業日報社  
化学物質総合情報提供システム (独)製品評価技術基盤機構(NITE)  
労働安全衛生法 MSDS 対象物質全データ  
GHS モデル MSDS 情報 中央労働災害公害防止協会 安全衛生情報センター  
化学大辞典 共立出版  
化学便覧 日本化学会編

## 記載内容についてのご注意 :

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成したもので、新しい知見により改訂されることがあります。また、記載された注意事項は通常取り扱いを対象としたものですので、特殊な取り扱いをされる場合はその用途、用法に適した安全対策を実施してご使用下さい。  
記載内容は情報提供であり、保証するものではありません。